

子どもアート・ボランティア講座 2008

参加
無料

子どもとアートに関わる皆さん、最先端の時代の子どものアート事情を学びませんか？
日本屈指の講師陣と、これからの子どもとアートのコラボレーションのあり方を探ります！

講座1 11月15日(土) 13:30~16:30

●学校の外でアートと出会おう！

「学校外教育での子どもとアートのこれまでとこれから」

パネリスト 宮脇 理 (芸術教育学、元 筑波大学教授)
齋 正弘 (宮城県美術館教育普及部部长)

会場：同志社大学 今出川キャンパス 至誠館2番教室

日本では小中学校の義務教育に美術教育があります。しかしこれからのポスト産業化社会の社会展望を見据えると、アートが社会で果たすべき役割も変わってきます。学校の芸術教育に極めて造詣の深い宮脇理氏と、学校外社会教育の美術教育の実践理論を語る齋正弘氏に、学校の内外を越えた21世紀ポストモダンのアート・エデュケーションの実践ヴィジョンをお聞きます。

講座2 11月29日(土) 13:30~16:30

●子どものための施設でアートと出会おう！

「最先端に行く子どもとアートの施設とその教育研究プロジェクト」

パネリスト 目黒 実 (九州大学ユーザーサイエンス機構
特任教授、子どもプロジェクト主宰)
上田信行 (ネオ・ミュージアム館長
同志社女子大学現代こども学科教授)

会場：光清寺 (京都市千本出水通西入ル)

九州大学ユーザーサイエンス機構子どもプロジェクトを主宰し、数々のチルドレンズ・ミュージアムを立ち上げてきた目黒実氏。また、吉野のネオ・ミュージアムを舞台に最新の子どものアートと学びの研究実践を指揮する上田信行氏。日本でトップを走る子どもとアートの研究機構を率いてきた二人をゲストに、チルドレンズ・ミュージアムやCAMPといった最先端の子どものアートの施設の活動事例と、大学で研究を進めている最先端の子どものアートのプロジェクトについてお聞きます。

講座3 1月10日(土) 13:30~16:30

●学校にアーティストがやってくる！

「アートでひらくこどもと社会」

パネリスト 水野哲雄 (京都造形芸術大学こども芸術学科教授)
きむらとしろうじんじん (芸術家)

会場：京都市立北白川小学校 ふれあいサロン室

野点屋台で全国各地に現れる陶芸家でもあり幼稚園で子どもアトリエを開催している、きむらとしろうじんじん氏。そして子どもに関わる教育者・保育者を芸術の観点から育成する、こども芸術学科を立ち上げた水野哲雄氏。お二人の生活から「こども」と「アート」で見えてくるものは何か？子どもとアートのこれからの考えていくヒントを探ります。

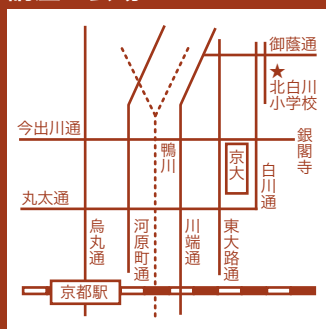
講座1会場



講座2会場



講座3会場



■申し込みお問い合わせ
氏名、住所、電話番号、所属、希望講座番号を明記の上、下記メール宛にお申し込みください。
ctc50s50@m09.alpha-net.ne.jp

■交通
会場には駐車場がございませんので、公共交通機関等をご利用ください。

■主催 アート・コミュニケーション・デザイン、同志社大学 社会・芸術国際研究センター
■助成 独立行政法人国立青少年教育振興機構子どもゆめ基金